

市町村名	豊川市	窓口	豊川市保健センター
住所	〒442-0879 豊川市萩山町3丁目77番地の1、77番地の7		
電話	0533-89-0610	FAX	0533-89-5960
E-mail	hokens@city.toyokawa.lg.jp	URL	http://www.city.toyokawa.lg.jp
【周産期医療機関へのPRコメント】			
母子手帳交付			
場所	保健センター		
交付方法	随時		
スタッフ職種	保健師・助産師・看護師		
→保健師以外の場合の気になるケースへの対応	妊娠届出書の項目を決め、相談があるか確認し保健師や助産師と交代する。		
市町村独自アンケート	実施あり		
内容・特徴	出産病院、支援者の有無、妊娠を知った時の気持ちなどを問診し、妊婦の体調や気持ち聞き取りながら困っていることや不安なことを共有し、相談支援を行う。		
子育て世代包括支援センター（母子健康包括支援センター）			
①（母子保健型・基本型・特定型） ・ 無			
名称	なし		
場所	母子保健型：保健センター 基本型：子育て支援センター		
スタッフ職種	母子保健型：保健師、看護師、事務員 基本型：保育士		
内容・特徴	母子保健型と基本型の設置場所は異なるが、妊娠届出から育児支援まで情報共有し、連携して母子の支援を図っている。		
子ども家庭センター			
① ・ 無（設置予定時期）			
名称	なし		
場所	子ども家庭総合支援拠点：市役所子育て支援課 子育て世代包括支援センター：子育て支援センター・保健センター		
スタッフ職種	子ども家庭総合支援拠点：心理士、事務員、保育士、保健師 子育て世代包括支援センター：保育士、保健師、助産師、事務員		
内容・特徴	子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターが現在分離型でスタートしたが、令和8年度中に一体型で実施予定		
パパママ教室・両親学級等			
名称	① 1回でわかる！産後ライフ教室 ② 子育て安心教室（おうち編） ③ 子育て安心教室（からだ編） ④ 子育て安心教室（おくすり編） ⑤ みんなで学ぶ！赤ちゃんのきもち教室 ⑥ プレママ授乳交流会		

時期・回数	①12回 ②2回 ③4回 ④2回 ⑤6回 ⑥12回	
会場	保健センター<①・④・⑤・⑥>、勤労福祉会館<②・③>	
対象者	①妊婦とその家族 ②妊婦・産後1年未満の方とその家族 ③妊婦・産後6か月未満の方とその家族 ④妊婦・産後1年未満の方とその家族 ⑤生後2～3か月頃のお子さんとその家族 ⑥妊婦	
スタッフ職種	①保健師、助産師、管理栄養士 ②歯科医師、歯科衛生士、保健師 ③小児科医、保健師 ④薬剤師、保健師 ⑤臨床心理士、保健師 ⑥保健師、助産師	
申込み方法	予約制。電話またはweb申し込み。	
内容・特徴	①産後のイメージ、育児体験 ②口腔衛生ケア ③乳児の発育発達、事故予防、病気の対処法 ④妊娠中、授乳中の薬剤、子どもへの薬の飲ませ方 ⑤乳児とママの心と体の変化 ⑥妊婦同士の交流と授乳に関するイメージ作り	
ハイリスク者向け事業（多胎児・外国人・転入者対象、MCG等）		
名称	双子ちゃん交流会	
時期・回数	年4回	
会場	保健センター	
対象者	多胎妊産婦及び双子の親子の会	
スタッフ職種	保健師	
申込み方法	対象者に案内郵送し、電話またはweb申し込み	
内容・特徴	双子の親子の会と共催で、情報交換と交流	
マタニティサロン・広場等		
名称	マタニティ day	
時期・回数	毎月1回	
会場	つどいの広場“MAH”（プリオ5階）	
対象者	妊婦	
スタッフ職種	（特非）とよかわ子育てネットの相談員	
申込み方法	申し込み不要	
内容・特徴	妊婦同士の交流	
産前産後サポート事業／産後ケア事業		
名称	豊川市産後ケア事業	
会場	市が指定した産科機関等	
対象者	豊川市に住所があり生後1歳未満の赤ちゃんとママで以下に該当する方 ・産後の体調不良、育児不安がある ・家族等から十分な家事育児支援がない	
スタッフ職種	産科機関スタッフ	
利用方法	まずは保健センターへ電話連絡	
内容・特徴	ママのケアと育児サポート	
産前・産後ヘルパー		

名称	豊川市産前・産後ヘルパー利用費補助事業
時期・回数	1日2時間以内、合計45日間（多胎出産の場合は90日）を限度とし、1時間の利用費につき350円の補助
場所	保健センターにて申請
対象者	豊川市に住所があり、身内から日中支援が得られない（核家族や支援者が高齢・病気の方を含む）家事等を行うことが困難な状態にある妊産婦（産婦は産後4か月未満、多胎産婦は産後8か月未満）
スタッフ職種	事業所スタッフによる
利用方法	保健センターへ申請後、利用者が豊川市内のヘルパー事業所（申請時に提示する事業所）に連絡し、利用契約や具体的な日程調整を直接行う。サービス利用をした場合は、利用料金を直接、ヘルパー事業所へ支払い、後日保健センターへ利用費補助申請をする。
内容・特徴	食事の支度及び片付け、買い物、洗濯、掃除、沐浴の準備、保護者と一緒に育児

養育支援訪問事業

育児・家事援助		専門的相談支援
対象者	未実施	若年・未婚・育児ストレスを抱えた家庭。不適切な養育状況にある家庭
スタッフ職種		保健師・看護師・助産師・保育士・臨床心理士
里帰り先への訪問		他市町村へ依頼
申込み方法		—
内容・特徴		体重測定・育児情報の提供

	妊娠中の家庭訪問	新生児訪問	未熟児訪問	こんにちは赤ちゃん訪問
対象者	相談支援が必要と認める妊婦	相談支援が必要と認める児	相談支援が必要と認める児	4か月健診前で2か月前後の児
時期	随時	随時	随時	随時
家族からの申し込み方法	事前に要相談	事前に要相談	低体重児届出書の提出時確認する	訪問日程調整は担当から行う
医療機関からの依頼方法	連絡票	連絡票	連絡票	連絡票
スタッフ職種	保健師、助産師	保健師、助産師	保健師、助産師	保健師・助産師・看護師
里帰り先への訪問	市外の場合は他市町村へ依頼	市外の場合は他市町村へ依頼	市外の場合は他市町村へ依頼	市外の場合は他市町村へ依頼
内容	相談支援・情報提供	相談支援・情報提供	相談支援・情報提供	相談支援・情報提供

育児相談

名称	育児相談
時期・回数	年56回
会場	保健センター・健康福祉センター・音羽福祉保健センター・御津福祉保健センター・ござかい葵風館
対象者	乳幼児とその親

スタッフ職種	保健センター：保健師・管理栄養士・歯科衛生士・助産師 他の4会場：保健師・管理栄養士（3～5か月に1回）		
申込み方法	申し込み不要		
内容・特徴	育児に関する相談		
3, 4か月児健診		他の乳幼児健診	
名称	4か月児健診	1か月児健診	乳児期後期健診
方法	集団	個別（医療機関委託）	個別（医療機関委託）
時期・回数	年36回	随時	随時
会場	保健センター	県内医療機関	県内医療機関
対象者	4か月児	1か月児	6～10か月の児
スタッフ職種	小児科医・保健師・看護師・ 事務員・子育て支援課ブック スタートボランティア・通訳	—	—
申込み方法	案内された日時に会場へ	直接医療機関へ	直接医療機関へ
周知方法	対象者に郵送で個別案内 広報・ホームページ	母子手帳交付時説明	母子手帳交付時説明
内容・特徴	ボランティアによるブック スタートを同時開催	—	—
離乳食教室・子育て教室等			
名称	モグモグ教室	カミカミ歯っぴ～教室	
方法	集団	集団	
時期・回数	年12回	年12回	
会場	保健センター	保健センター	
対象者	5か月児	9か月児	
スタッフ職種	管理栄養士・保健師	管理栄養士・歯科衛生士・保健師	
申込み方法	web申し込み	申し込み不要	
内容・特徴	離乳食初期の講話	歯磨き方法の体験と離乳食後期の講話	
健診事後教室等			
名称	ひぼちゃん教室	びよびよ教室	
方法	集団	集団	
場所	保健センター	保健センター	
対象者	1歳9か月～2歳	2歳3か月～2歳11か月	
スタッフ職種	保育士・臨床心理士・保健師	保育士・臨床心理士・保健師	
利用方法	1歳6か月児健診で必要と判断された児 に参加勧奨する	2歳児歯科健診等で必要と判断された児に参加 勧奨する	
内容・特徴	親子遊びを通し親が子どもへの接し方を 学ぶと共に、子どもの発達を知る機会とな るよう実施	親子遊びの中で親が子どもの発達・特徴を知る機 会となるよう実施。必要時、関係機関と連携して 継続支援を行う	
電話相談			

担当部署	1. 子育て支センター      2. 保健センター	
名称	子育てに関する相談	
曜日・時間	1. 月～金曜日(祝日、年末年始、ﾌﾟﾘｯﾀｲﾝｸﾞを除く) 午前10時～午後6時まで 2. 月～金曜日(祝日、年末年始を除く)午前8時30分～午後5時15分まで	
電話番号	1. 0533-89-1398 2. 妊産婦保健係：0533-95-4652      乳幼児保健係：0533-95-4653	
対象者	豊川市民	
スタッフ職種	1. 保育士 2. 保健師、管理栄養士、歯科衛生士、助産師、	
内容・特徴	子育ての中で保育のノウハウについての相談 子どもの成長・発達や育児の不安などについての相談	
思春期保健に関する事業		その他事業
名称		
時期・回数		
対象者		
スタッフ職種		
申込み方法		
内容・特徴		